

シューマンの家 ボン

ロベルト・シューマンが彼の生涯最期の歳月を過ごした、ボン＝エンデニヒのゼバスティアン通りにある家は、現在ボン市が音楽図書館と二つのシューマン記念室として維持管理しています。

この擬古主義的な様式で築かれた建物の歴史は、最後のケルン選帝侯マックス・フランツの時代にさかのぼります。当時は、選帝侯の議会議員であり市の陪審員選定官であったマティアス・ヨーゼフ・カウフマンの別荘として使われていました。1844年に精神科医リヒャルト博士の療養所の一部となり、1854年にロベルト・シューマンは彼の診療を受けることになったのです。シューマンの病気は、デュッセルドルフで音楽監督として活躍していたときに突発しました。ロベルト・シューマンは亡くなるまでリヒャルト博士の療養所に入院したきりで、時々近くに散歩に出かけるためにしかここを離れることはできませんでした。

若きヨハネス・ブラームスが何度も見舞いに訪れましたが、その折一度、シューマンもミュンスター広場のベートーヴェン記念像へ向かいました。その記念像の設置には、シューマンが1836年に自身の「音楽新報」で熱烈に寄付の呼びかけをして非常に貢献したのです。妻クララとの短い再会の後、シューマンは1856年7月29日の午後に息を引き取り、大勢の友人たちやボン市民たちの参列のもと、旧墓地に埋葬されました。1880年にはそこにアドルフ・ドンドルフによる記念碑が、友人たちやファンによって寄贈され、シューマン祭の一環として除幕式が行われました。

シューマンが没したエンデニヒの家には、1926年にはすでに衛生技官ケルナー博士を通してシューマン記念地開設の気運が高められ、この巨匠の生地であるツヴィカウのシューマン協会から寄贈された記念盤が取り付けられました。戦争中にこの家は著しく損傷してしまいましたが、公の激しい討論の末、取り壊しを免れ、改装を確約することができました。1963年5月12日、二階にある二つのシューマン記念室は、ロベルトおよびクララ・シューマンの諸文書、絵画や、友人たちからの手紙とともに、荘重に一般公開されました。

このことと意義深く結びつくかたちで、この家の他の部屋は、約4万6000もの書籍、楽譜、録音を所蔵する市立音楽図書館になっており、ボンとその近郊の音楽愛好家の方々にたいへんご好評をいただいております。またハウスコンサートでは、シューマンのピアノ曲や室内楽曲がとりわけよく演奏されています。

所在地： Sebastianstraße 182, 53115 Bonn-Endenich

(ゼバスティアンシュトラッセ182、53115ボン＝エンデニヒ)

開館時間： 月、水、木、金曜日 11:00～13:30、15:00～18:00

電話番号： 0228/773656

ファックス： 0228/779163656

Eメール： stadtbibliothek.musikbibliothek@bonn.de

ホームページ： www.bonn.de/stadtbibliothek

交通手段： 604、605、606、607番のバス

最寄りの停留所： Alfred-Bucherer-Straße

(アルフレッド＝ブーハラール＝シュトラッセ)